

滋賀職業能力開発計画の答申案に対する意見と対応策案

資料1

		項目	意見概要等	考え方と対応策	答申案の変更
1	P3	3 人材確保・育成に関する各分野の計画との関係	「滋賀の教育大綱、」と「、」で終わっているが、この後に何か続くのか。	ご意見のとおり修正する。	有
2	P4	人材分野と人材確保・育成に関する計画との関係	滋賀の教育大綱(第3期教育振興基本計画)について、「医療・福祉」と「全分野」の2か所で挙げられているが、これで正しいか。 また「医療・福祉」の人材分野が記入されていないが、これで正しいか。	「医療・福祉」については、上段の「保育士等」のことで、「すべての分野」については、キャリア教育を実施するため、すべての分野の人材確保・育成につながるという趣旨である。記載方法を修正する。	有
3	P5	4 SDGsとの関係	ゴールの番号を記載しているものの、具体的にどのような形で教育や経済成長に寄与するのか些か不透明であるように思われる。関連するゴールを5つ掲げておられるので、該当する章などで再度ロゴマーク付きの詳細を記載するべきではないだろうか。	別添のとおり一覧表に整理したが、取組施策がSDGsのあらゆるゴールの達成に結びつくため、あまり一覧表の意味を無していないと思われるので、原文のままとする。	
4	P7	滋賀県の産業構造	現状の2行目「産業構造化のサービス経済化」という記載について、「産業構造のサービス経済化」ではないか。	ご意見のとおり修正する。	有
5	P8	滋賀県の雇用情勢	現状の2行目「完全失業率も2.1%に下落しました。」という記載について、「下落」はマイナスのイメージである。「回復」あたりが良さそうであるが、同じ行で使われているので、「改善」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
6	P8	滋賀県の雇用情勢	現状の5行目「在職者の雇用維持・拡大」という記載について、「在職者の雇用維持」は理解できるが、「在職者の雇用拡大」はわかりにくいのではないか。「在職者の雇用維持と人材の有効活用」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
7	P9	第4次産業革命に伴う新しい職業能力開発と働き方の多様化	現状の最後「デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速化が促進される」という記載について、現状のままでもよいかもしれないが、「デジタルトランスフォーメーション(DX)化が加速される」と記載してはどうか。	国の職業能力開発計画にも同様の表現があるため、原文のままとする。	
8	P10	若者の状況	現状の3行目について、「勤務継続状況について」の言葉が浮いている。また語尾の文体がここだけ違う。 「また16歳～29歳の50%程度は、学校等を卒業または中途退学した後の最初の就業先で、3年未満で離職しています。」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
9	P10	若者の状況	課題1行目について、「就業促進を防止」してはいけないので「若者の就業促進や早期離職防止のためには」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
10	P10	若者の状況	課題の最後「県内企業に対して、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の推進を行う必要があります。」について、下記のとおり記載してはどうか。 「県内企業が、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の推進を行う必要があります。」あるいは「県内企業に対して、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の推進をはたらきかける必要があります。」	「県内企業に対して、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の推進を働きかける必要があります。」に修正する。	有
11	P11	女性の状況	課題の最後「職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進を進めていく必要があります。」を「職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進が必要で。」と記載してはどうか。	「職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進を働きかける必要があります。」に修正する。	有
12	P13	中高年齢者の状況	現状の2行目「31人以上企業規模で」について、「31人以上規模で」もしくは「31人以上規模企業」と記載してはどうか。	「31人以上規模企業で」に修正する。	有
13	P14	就職氷河期世代の状況	現状の3行目「不安定な仕事についている」について、「不安定な仕事に就いている」ではないか。	ご意見のとおり修正する。	有
14	P14	就職氷河期世代の状況	課題の4行目「応募機械」について、「応募機会」ではないか。	ご意見のとおり修正する。	有
15	P14	就職氷河期世代の状況	課題の最後「支援策を着実に取り組む必要があります」について、「支援策を着実に実行する必要があります」あるいは「支援策に着実に取り組む必要があります」と記載してはどうか。	「支援策に着実に取り組む必要があります」に修正する。	有
16	P16	県内事業所のニーズ	課題1行目の「資質等」について、「資質」は生まれもったもので身に付けるものではないと思う。「自覚やマナー等」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
17	P17	県内事業所のニーズ	現状の最後「指導者や訓練費用を負担に感じています。」について、「指導者を負担に感じています」となり、少し言葉足らずである。「指導者の手配(確保?)や訓練費用を負担に感じています。」と記載してはどうか。	「指導者の確保や訓練費用を負担に感じています。」に修正します。	有

滋賀職業能力開発計画の答申案に対する意見と対応策案

資料1

		項目	意見概要等	考え方と対応策	答申案の変更
18	P19	公共職業訓練等の状況	課題の2行目「訓練の充実を図る必要があります。」について、今も充実した訓練を実施頂いていると思うので、「訓練のさらなる充実を図る必要があります。」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
19	P20	公共職業訓練等の状況	課題「技能向上セミナーの周知啓発や新しい技能の習得に向けたカリキュラムにする等、在職者ニーズへの柔軟な対応が必要です。」について、「セミナーの周知啓発」は「在職者ニーズへの柔軟な対応」ではないと思うので、「や」で結ぶのに違和感を感じた。下記の記載してはどうか。 「技能向上セミナーを周知啓発するとともに、新しい技能の習得に向けたカリキュラムの見直し等、在職者ニーズへの柔軟な対応が必要です。」	ご意見のとおり修正する。	有
20	P21	公共職業訓練等の状況	現状の「平成30年度から受講者は減少傾向にあり、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、訓練が中止になり、受講者は大幅に減少し、定員充足率は70%未満で推移しています。」記載について、「定員充足率は70%未満で推移しています。」はH28以降の傾向だと思うが、このままの記載では令和2年度の事象のように読め取れてしまう。下記のとお記載してはどうか。 「平成28年度以降、定員充足率は70%未満で推移しています。平成30年度から受講者は減少傾向にあり、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、訓練が中止になり、受講者は大幅に減少しました。」	ご意見のとおり修正する。	有
21	P22	第10次しが職業能力開発推進プランの検証	5の1行目「指導員の資質向上を実施することともに、」について、「資質向上を実施する」は「資質向上を図る」という意図か。ここでは「資質向上」でも良いと思うが「技能と指導力のさらなる向上」という記載でもよいかと思う。	「指導員の資質向上を図るとともに、」に修正する。	有
22	P22	第10次しが職業能力開発推進プランの検証	最後「引き続き誰もが活躍できる社会の実現が必要」について、「引き続き誰もが活躍できる社会の実現に向けた取り組みが必要」という記載はどうか。	「引き続き誰もが活躍できる社会の実現に向けた取組が必要」に修正する。	有
23	P24	基本理念	「これまでから」という表現は、公的な書類に使うのが好ましくない言葉のように思う。「かねてより」、「以前から」という記載はどうか。また「これまでから」を削除してもいいのではないかとと思う。	「これまでから」を削除する。	有
24	P27	数値目標	かな文字の横棒になっています。全角のハイフンに修正	ご意見のとおり修正する。	有
25	P28	社会人としての基礎的な資質・能力の育成	「企業が雇用する際に、重視するコミュニケーション能力や社会人としてのマナーの習得に向けた訓練を実施します。」という記載は、「企業が雇用する際に、訓練を実施します」の意味に読み取れてしまう。「企業が雇用する際に、重視する」の「、」は削除するべきだと思う。	ご意見のとおり修正する。	有
26	P30	学校教育におけるキャリア教育の推進	「児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見直しながら、」の部分の「見直し」の主語は誰か。「児童生徒が見直し」の意図であれば、「児童生徒」には「見直し」の対象となる前提の考えがない状態だと思うので「見直し」ことはできないと思う。「意識しながら」という記載はどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
27	P30	学校教育におけるキャリア教育の推進	「基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、」という記載について、「資質」は身に付けるものではないと思うので、「育んでいく」という記載はどうか。	学習指導要領では、「指導・能力を身につける」という表現がされているため、原文のままとする。	
28	P30	学校教育におけるキャリア教育の推進	「県立特別支援学校高等部生徒における職場実習の実施」について、「県立特別支援学校高等部生徒に対する職場実習の実施」または「県立特別支援学校高等部における職場実習の実施」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
29	P30	あらゆる産業の人材確保に向けた魅力発信	「ものづくり体験教室」とはなにか。	ものづくりへの関心を高めるきっかけづくりとして、毎年10月頃に、高等技術専門校で行っているイベントである。	
30	P32	並び順	「「おうみ若者マイスター」の認定」のなかで「おうみの名工」の記載があり、「「おうみの名工」の表彰」を一番目にすれば、つながりが良くなる。 難易度が高いものから順に並べて、「「おうみの名工」の表彰」、「おうみ若者マイスター」の認定」、「技能競技大会成績優秀者の表彰」の順番に変えてはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有

滋賀職業能力開発計画の答申案に対する意見と対応策案

資料1

		項目	意見概要等	考え方と対応策	答申案の変更
31	P32	「おうみの名工」の表彰	「「おうみの名工」として、表彰し」という記載について、「「おうみの名工」として表彰し」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
32	P33	県立大学におけるICT教育の実施	「数理モデル・情報解析能力の修得や研究活動と一体となってICTを用いた実習を行うことにより」という記載について、下記のとおり記載してはどうか。 「数理モデル・情報解析能力の修得や研究活動と一体化させたICT実習を行うことにより」	ご意見のとおり修正する。	有
33	P34	企業や求職者のニーズに応じた職業訓練の実施のための連携	「求人や求職者のニーズに」の部分について、「企業や求職者のニーズに」の方がわかりやすいのではないかと。	ご意見のとおり修正する。	有
34	P34	「企業や求職者のニーズに応じた職業訓練の実施のための連携」	「各種訓練に関する会議の開催、参画」の部分について、他団体の会議に参画するという意図であれば、「各種訓練に関する会議の開催と他団体会議への参画」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
35	P34	「しがジョブパーク」における就労支援	キャリアプランを作成するのはあくまでも本人で、支援機関が行うことは「キャリアプランの作成」ではなく「キャリアプラン作成の支援」ではないかと。そのため、「就労相談やキャリアプランの作成支援」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
36	P35	「職業訓練のあり方の研究」	「各種訓練に関する会議の開催、参画」の部分について、他団体の会議に参画するという意図であれば、「各種訓練に関する会議の開催と他団体会議への参画」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
37	P36	数値目標	かな文字の横棒になっています。全角のハイフンに修正	ご意見のとおり修正する。	有
38	P40	デジタル技術に対応した機器整備や指導員の技能・資質向上	一部文字が重なっている	ご意見のとおり修正する。	有
39	P41	在職者訓練のあり方の研究	「各種訓練に関する会議の開催、参画」の部分について、他団体の会議に参画するという意図であれば、「各種訓練に関する会議の開催と他団体会議への参画」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
40	P41	雇用シェア(在職者型出向・副業・兼業等)の推進	特に記載等は必要ないが、推進に向けた準備をする中で、企業が無意識に違反を起こすことのないように「秘密保持」「守秘義務」等の企業に対する教育が必要かと思う。(契約等を結びしっかり対策ができている場合はよいが、そういう意識が欠けた企業間で実施される場合など、問題が生じそうな気がする)	ご意見を踏まえて、取組を進めていく。	
41	P43	数値目標	かな文字の横棒になっています。全角のハイフンに修正	ご意見のとおり修正する。	有
42	P43	数値目標	一部、現状と目標値が未記入である。	現在、令和元年度修了生の定着率について、集計中であり、目標値についても、令和元年度実績と同等以上の数値とする予定。	有
43	P46	「しがジョブパーク」における就労支援	キャリアプランを作成するのはあくまでも本人で、支援機関が行うことは「キャリアプランの作成」ではなく「キャリアプラン作成の支援」ではないかと。そのため、「就労相談やキャリアプランの作成支援」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
44	P47	デジタル技術に対応した機器整備や指導員の技能・資質向上	一部文字が重なっている	ご意見のとおり修正する。	有
45	P48	リード文	「育児や介護と両立した職業能力開発の機会」という記載について、「育児や介護との両立が可能な職業能力開発の機会」という記載のほうがいいのではないかと。	ご意見のとおり修正する。	有
46	P48	「子育て中の女性等に配慮した職業訓練の実施」	「受講時間に配慮した職業訓練等を実施します」という記載について、配慮するのは「受講時間」ではなく「それぞれの生活様式」ではないかと。そのため、下記のような記載はどうか。(これまでの取組は難しい) 「それぞれの生活様式に合わせて受講時間を柔軟に変更(選択?)できる」	「一日の受講時間を短縮した職業訓練等を実施します。」に修正する。	有

滋賀職業能力開発計画の答申案に対する意見と対応策案

資料1

	項目	意見概要等	考え方と対応策	答申案の変更	
47	P48	「子育て中の女性等に配慮した職業訓練の実施」	「訓練時間の設定に配慮した職業訓練の実施」という記載について、配慮するのは「訓練時間」ではなく「それぞれの生活様式」ではないか。そのため、下記のような記載はどうか。(このような取組は難しいか) <b>「訓練(受講?)時間を柔軟に設定可能な職業訓練の実施」</b>	「一日の受講時間を短縮した職業訓練等の実施」に修正する。	有
48	P48	「「滋賀マザーズジョブステーション」における就労支援」	「保育情報の提供や就労支援イベントを、保育所等一斉申込開始前に集中的に実施します。」の記載について、内容がわかりづらい。 「保育情報や就労支援イベント情報等を一般公開に先立って優先的に案内します。」あるいは「保育所入園や就労支援イベント参加等の申込みを一般申込みに先立って優先的に受け付けます。」といった意味か。	「また、保育所等の申込時期に合わせ、保育所探しと職探しの両方で悩む女性等を対象に、保育情報の提供や就労支援イベントを実施します。」に修正する。	有
49	P49	障害者一人ひとりの特性に応じた職業訓練の実施	「障害者一人ひとりの特性に応じ」と記載しているが、対象とするのは軽度の知的障害者だけか。県立高等技術専門校(総合実務科)の対象は、軽度の知的障害者だと思われるが、軽度の知的障害者以外にも対応するのか。この辺りがよく読み取れない。	県立高等技術専門校(総合実務科)の対象は、軽度の知的障害者であるが、企業実習型職業訓練では、全ての障害者を対象としているの。 については、「県内企業と連携し、障害の種類に関わらず、障害者一人ひとり、～」に修正する。	有
50	P49	障害者の技能向上と障害者雇用の理解促進	「障害者と介護事業所間の受入にかかる調整」について、この部分を読んだだけでは、どのような受入かが不明確で、障害者の施設入所に関する受入のように読み取れてしまう。そのため、下記のような記載にしてはどうか。 <b>「障害者と介護事業所間の就労受入にかかる調整」</b>	ご意見のとおり修正する。	有
51	P50	「働き・暮らし応援支援センター」における就労支援	「障害者の就労の場の確保や職場への定着を行う職員の配置」という記載について、「 <b>障害者の就労の場の確保や職場への定着を支援する職員の配置</b> 」という意味か。	「障害者の就労の場の確保や職場への定着を支援する職員の配置」に修正する。	有
52	P51	シニアジョブステーション滋賀」における就労支援	「中高年齢者の確保や活躍に向けたアドバイスや好事例紹介を実施します。」という記載について、「や」が連続し少し読みにくい。下記のような記載はどうか。 <b>「中高年齢者の確保と活躍(活用?)のためのアドバイスや好事例紹介を実施します。」</b>	「中高年齢者の確保と活躍のためのアドバイスや好事例紹介を実施します。」に修正する。	有
53	P53	「しがジョブパーク」における就労支援	キャリアプランを作成するのはあくまでも本人で、支援機関が行うことは「キャリアプランの作成」ではなく「キャリアプラン作成の支援」ではないか。 そのため、「就労相談やキャリアプランの作成支援」と記載してはどうか。	ご意見のとおり修正する。	有
54	P54	リード文	この第4章の内容には疑問はないが、該当箇所、特に「人口減少が進む中」という文言は蛇足であり、内容との因果関係は無いように思われる	「人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略」の表現を引用しているため、原文のままとする。	
55		全体	「資質」という言葉の使い方について、個別に指摘したものもありますが、全体的に「資質」という言葉の使い方が気になりました。資質は生まれもったもので、後天的に身に付けられるものではないと思います。(伸ばすことや向上させることはできると思います)。ただし、行政等の文書で、「資質を身に付ける」といった文が一般的に使われるのなら、そのまま使っていただければ結構です。その場合はご放念ください。	「資質を身に付ける」という表現は、学習指導要領で使用されている表現でもあり、原文のまま表記している部分もある。	

P19 公共職業訓練等の状況 R2年度入校率 (誤)86.7% →(正)82.1%  
R2年度就職率 (誤)74.1% →(正)74.7%  
不明に思う点や違和感を感じる点もございませんでした。  
国民の雇用や経済発展を支えるためにも必要な施策だとつくづく感じました。

# 第1章

# プランの策定にあたって

## プランに掲げる取組とSDGsの関係

		 1 貧困をなくそう	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 8 働きがいも経済成長も	 10 人や国の不平等をなくそう
I しがの産業の将来を支える人材の育成 (在学生等対象)	1 将来のものづくりの担い手の確保・育成	●	●	●	●	●
	2 技能の振興・ものづくりを支える気運の醸成		●		●	●
	3 デジタル技術に対応できる人材育成	●	●	●	●	●
	4 国や関係機関・団体等との連携による人材育成	●	●		●	●
II しがの産業の今をけん引する人材の育成 (在職者対象)	1 企業の生産性向上に向けた人材育成	●	●	●	●	●
	2 訓練施設における人材育成機能の強化	●	●	●	●	●
	3 デジタル技術に対応できる人材育成	●	●	●	●	●
III 誰もが働き、活躍できる社会の実現に向けた多様な人材の活躍促進 (求職者等対象)	1 求職者の職業能力開発と活躍促進	●	●		●	●
	2 デジタル技術に対応できる人材育成	●	●	●	●	●
	3 女性の職業能力開発と活躍促進	●	●	●	●	●
	4 障害者の職業能力開発と活躍促進	●	●		●	●
	5 中高年齢者の職業能力開発と活躍促進	●	●		●	●
	6 外国人の職業能力開発と活躍促進	●	●		●	●
	7 就職氷河期世代の職業能力開発と活躍促進	●	●		●	●
	8 社会参加に向けた支援を必要とする者の活躍支援	●	●		●	●